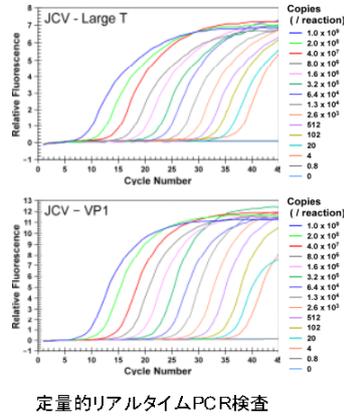
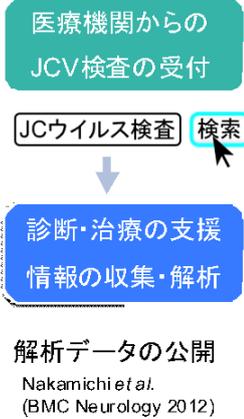


脳脊髄液中のJCウイルス(JCV)の検査支援による 進行性多巣性白質脳症のサーベイランス

研究分担者： 国立感染症研究所ウイルス第一部 西條政幸

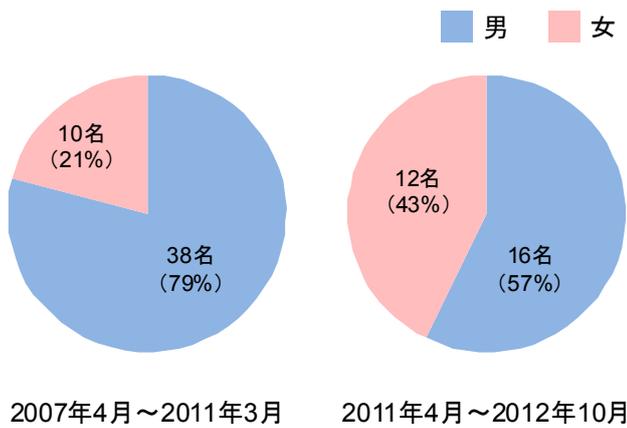
① インターネットを介した実験室サーベイランス



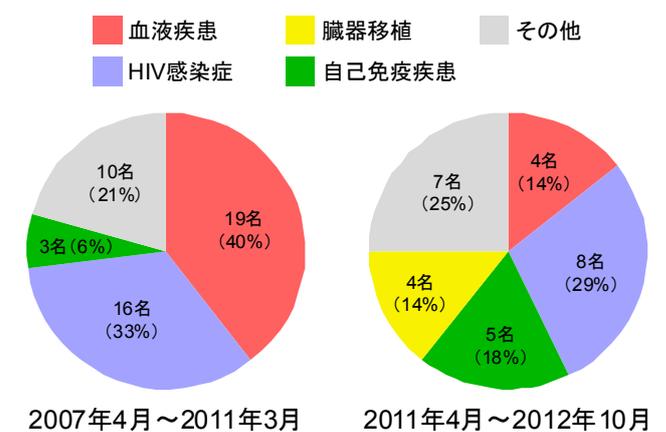
② JCV検査の実績

年度	受付件数	被検者数	陽性者数
2007	85	72	11
2008	95	85	7
2009	144	126	18
2010	180	139	12
2011	177	141	19
2012(~10月)	128	106	9
合計	809	669	76

③ 脳脊髄液JCV陽性者の男女比



④ 脳脊髄液JCV陽性者の基礎疾患



解 説

1. 全国の医療機関から進行性多巣性白質脳症(PML)の診断のための脳脊髄液中のJCウイルス遺伝子の検査を受け付けた。2007年4月から2012年10月現在までに809件の検査を実施し、76名が陽性を呈した。
2. 2007年からの4年間では血液疾患やHIV感染症を有する男性患者を中心として陽性者が見られたが、近年(2011年以降)では女性患者の割合が増えており、また自己免疫疾患もしくは臓器移植歴を有する患者でのPMLが増加傾向にあることが分かった。